

日朝情報当局が極秘接触

モンゴル首都で今月上旬 拉致解決へ首脳会談模索

【共同】安倍晋三首相に近い情報当局の政府高官が今月上旬、北朝鮮の情報部門である朝鮮労働党統一戦線部の幹部とモンゴルの首都ウランバートルで極秘接触したことが分かった。複数の日朝関係筋が18日明らかにした。接触したのは、警察出身の北村滋内閣情報官。北朝鮮から日本人拉致問題進展の確約を取り付けた上で、金正恩朝鮮労働党委員長との首脳会談にこぎ着けたい首相の意向を踏まえた動きだ。

今回の枠組みでの極秘接触は、北村氏と統一戦線部のキム・ソンへ統一戦線部長が接触した7月中旬のベトナム以来とみられる。外務省を通じて正規ルートでの環境整備は難しいと、情報当局の水面下交渉に活路を求めた首相の姿勢が浮き彫りになった。このルートを通じ、拉致解決への道筋を付けられるかが課題になる。

関係筋によると、北村氏は今月6、8日ごろにモンゴルを訪問し、ウランバートルで統一戦線部幹部を含む数人の北朝鮮関係者と面会した。日本政府高官は、共同通信の取材に対し「拉致問題の解決の在り方を、日朝間で話し合ったと聞いている」と認めた。

過去の日朝交渉を巡っては、北朝鮮が、未入国と田中実さんについて「入国していた」と日本側が非公式に伝えていたこと

不明記者は死亡濃厚

トランプ氏が初言及

【ワシントン共同】トランプ米大統領は18日、トルコで飛行機に墜落したサウジアラビア人記者の死亡の可能性が高いとの見方を示した上で「サウジ政府の関与が判明すれば、取っ組み合いの措置を取る」と記者団に表明した。ニューヨーク・タイムズ紙のインタビューでも「よほどの奇妙な死だ」と述べた。

18日、サウジ政府が「ムハンマド皇太子の指示を

中国成長率6.5%に減速

7、9月、9年ぶり低水準

【北京共同】西川廉平中国国家统计局が19日発表した今年7、9月期の国内総生産（GDP、速報値）は物価変動の影響を除く実質で前年同期比6.5%増だった。伸び率は今年4、6月期から0.2ポイント低下し、リーマン・ショック後の2009年1、3月期（6.4%）以来、約9年半ぶりの低水準となった。減速するのは2四半期連続。

中国が過剰債務などの金融リスクを抑制する政策を打ち出しているのを受け、固定資産投資が鈍化したほか、米国の影響も広がりはじめた。

6.7%となり、18年通年の政府目標である「6.5%前後」は引き続き上回った。

国家統計局の毛盛勇報道官は記者会見で「米国の貿易摩擦で不確実性が高まり、景気は下押し圧力に直面している」と状況の厳しさを説明した。

投資鈍化、対米摩擦影響

池坊伯国支部50周年祝う

独自の花材活かして発展

「美と和」モットーに仲良く



会場入り口のテープカットの様子



乾杯の様子

池坊ブライダル支部（河村徳子支部長）は日本移民110周年と、支部創立50周年を記念した「記念花展」開幕式を9月21日午後7時半、会場となるニッケイパラセホテル別館で行なった。日本からは池坊中央研修学院の森部隆教授が4度目の来伯をし、各地でセミナーを開いたほか、23日までの花展でデモンストラーションも行った。南米支部、橋支部、南米パラナ支部が合同で花展に参加した。

まず入り口でテーブルが並び、70瓶の生け花の作品が飾られた。華やかな会場に、来場者100人余りが足を踏み入れると、ムツツと音が響き、この二つをもちつて仲良く、美しく

ひとマチ 点描

来伯した池坊中央研修所の森部隆教授（66、福岡県出身）に「どうして華道を志したのですか？」と尋ねると、「祖父の代から職業として華道をやっているんです。ですから私も父からそれを継ぎました」とのこと。生粋の華道教師だ。

「でも実は、子供の頃は華道をやっていたことが恥ずかしかった。自転車の荷台に花材を積んでい

る時に、たまたま同級生に会ったりすると、恥ずかしくてこっそり花を捨てたりしてました」と笑う。

昔からの伝統的なスタイル「生花正風体」にはルールがたくさんあり、それだとブライダル独自の花材が活かせない部分があった。

現代の日本の暮らしに適する新たな生け花として1977年に当時池坊専永が「生花新風体」を発表した。従来の正風体の型に収めていたのはほとんど新



森部隆教授とその作品



作品を出品した皆さん

河村徳子支部長と娘リーナさんの作品



支部長の孫ビアンカさんとその息子と作品



オサスコで教師をする吉田洋子さんの作品

「自分には止められない」

フツアツプの虚報疑惑に答え

ハダジとシロはTSEに提訴

大統領候補のジャイル・ボウソナロ氏(社会民主党・PSL)は18日、同日付フオーリヤ紙で報じられた、企業が大金を払って、対立候補のフェルナンド・ハダジ氏や労働者党(P.T.)に関する大量のフェイクニュースをフツアツプで流す契約を結んだ疑惑に関して、「自分にはそれを止めることは不可能だ」と答えた。19日付フオーリヤ紙が報じている。

選挙検察が疑惑の捜査へ

フオーリヤ紙は18日、億単位のフェイクニュースを流す契約を結んだ疑惑を報じた。ボウソナロ氏は18日、この件に関するサイト「アンタゴニスタ」の取材に対し、「親しむことができる企業が仮にそうしたことをやっていたとしても、どうすることもできない。そうしたことが違法なことは知っているが、どうやってそれをコントロールしろというのか」と答えた。



ボウソナロ氏 Fernando Frazão/Agencia Brasil

ボウソナロ氏は取材後、ネットを通じて支持者に、「フェイクニュースを撤ぎ散らしているのはPTの方だ。PTはフェイクニュースで害を被ったのではなく、事実金と盗み、逮捕されてきた」と述べた。

また、7日の大統領選挙で3位となったシロ・ゴメスの民主労働党(P.D.T.)も、ハダジ氏に続いてTSEに訴え、選挙を無効にするよう求める意向だ。

今回の報道を受けて、ハダジ氏は18日、高等選挙裁判所(TSE)に出向き、ボウソナロ氏と副候補のアミウソン・モウロン氏、ハダジ社長のルシアノ・ハダジ氏、ハダジ社から下請けでフェイクニュース流出の業務を引き受けたとされる4社、フツアツプ運営企業のフェイクブック社を選挙法違反で訴えた。

「真金を使って違法献金を授受するなど、我々からしても縁遠いことだ。PTはボウソナロ氏のシャッパを無効にしようとしてくわんていっている」と反論している。

「また、新たな軍事政権が誕生するのではないかと恐れているという。軍事政権の誕生を恐れる人は、男性45%、女性55%で、女性の方が高い」との見解を示した。

選挙検察(M.P.E.)はすでに、ボウソナロ氏の支援企業による違法献金の疑惑についての捜査をはじめ、ハンダジ氏に罰金を科すようTSEに進言している。

両候補、環境政策で大差

「パリ協定離脱」語るボウソナロ

大統領選の決選投票を28日に控えるジャイル・ボウソナロ(自由社会党・PSL)、フェルナンド・ハダジ(労働者党・P.T.)両候補の環境政策は、「風力発電、太陽光発電への投資を促進する」の一点以外は大きく異なる。19日付フオーリヤ紙が報じている。

ボウソナロ氏の政策集には「環境保護」に関する項目がなく、「環境」の文字は、農牧供給省と

環境省の統合を提唱した部分に1回登場するだけだ。また、「国立再生可能天然資源・環境院(Instituto Brasileiro de Meio Ambiente e Defesa do Consumidor - Ibama)」を統合し、「罰金産業」を終わらせるべき」とも言う。

同氏の方針は、農牧畜を目的としている。環境省の統合を提唱した部分は支持されているが、環境保護団体から批判を受けている。

「パリ協定離脱」だ。2015年に世界196カ国が結んだ(その後米国が17年に離脱)同協定は、地球温暖化の抑制を目的としている。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

農牧部双方が快適に生活できる、俯瞰的な展望による持続可能な国家発展を目指す。また、二酸化炭素の排出削減に努め、地球温暖化の抑制に取り組むという。

「罰金産業」を終わらせるべき」とも言う。同氏の方針は、農牧畜を目的としている。

「パリ協定離脱」だ。2015年に世界196カ国が結んだ(その後米国が17年に離脱)同協定は、地球温暖化の抑制を目的としている。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

農牧部双方が快適に生活できる、俯瞰的な展望による持続可能な国家発展を目指す。また、二酸化炭素の排出削減に努め、地球温暖化の抑制に取り組むという。

「パリ協定離脱」だ。2015年に世界196カ国が結んだ(その後米国が17年に離脱)同協定は、地球温暖化の抑制を目的としている。

「不法伐採増える」の声

大統領選の決選投票を28日に控えるジャイル・ボウソナロ(自由社会党・PSL)、フェルナンド・ハダジ(労働者党・P.T.)両候補の環境政策は、「風力発電、太陽光発電への投資を促進する」の一点以外は大きく異なる。19日付フオーリヤ紙が報じている。

ボウソナロ氏の政策集には「環境保護」に関する項目がなく、「環境」の文字は、農牧供給省と

環境省の統合を提唱した部分に1回登場するだけだ。また、「国立再生可能天然資源・環境院(Instituto Brasileiro de Meio Ambiente e Defesa do Consumidor - Ibama)」を統合し、「罰金産業」を終わらせるべき」とも言う。

同氏の方針は、農牧畜を目的としている。環境省の統合を提唱した部分は支持されているが、環境保護団体から批判を受けている。

「パリ協定離脱」だ。2015年に世界196カ国が結んだ(その後米国が17年に離脱)同協定は、地球温暖化の抑制を目的としている。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

東西南北

ダッタフオーリヤが19日に行った世論調査によると、回答者の50%が「また、新たな軍事政権が誕生するのではないかと恐れているという。軍事政権の誕生を恐れる人は、男性45%、女性55%で、女性の方が高い」との見解を示した。

選挙検察(M.P.E.)はすでに、ボウソナロ氏の支援企業による違法献金の疑惑についての捜査をはじめ、ハンダジ氏に罰金を科すようTSEに進言している。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

農牧部双方が快適に生活できる、俯瞰的な展望による持続可能な国家発展を目指す。また、二酸化炭素の排出削減に努め、地球温暖化の抑制に取り組むという。

10月は乳がんの啓発月間

適度な運動で死者が1割減る

保健省が19日、伯国では、適度な運動をする事で死亡には至らずに済んだ乳がん患者が12%いたという研究結果を公表した。同日付伯字紙、サイエンス誌「ネイチャー」の発表は、10月がこの乳がんの正しい知識を広め、早期の乳がん検診受診を促すことだ。

電子版に掲載された。それによると、15年に乳がんが死亡した女性は、30〜49歳で3734人、50〜69歳で7796人、70歳以上5138人の計1万6668人だが、2075人(12%)は、適度な運動をしていれば死を避けられたと見られている。

伯国が予防対策研究所(I.B.C.C.)のエンソ・マントヴァニ氏によると、閉経期を過ぎた患者の乳がんの進行は、卵巣や女性ホルモンの関係が薄れ、体脂肪量の影響を受けるため、運動の重要性が増すという。

運動によって死亡が避けられたと見られる患者が多いのは、経済・社会階層の高い州。南大

ボウソナロ、討論会に出る

国民の73%が希望する

18日に発表されたダッタフオーリヤの世論調査で、国民の73%が、大統領候補のジャイル・ボウソナロ氏(社会民主党・PSL)とフェルナンド・ハダジ氏(労働者党・P.T.)とのテレビ討論会に出席するよう望んでいることがわかった。19日付フオーリヤ紙が報じている。

「討論会に出ないのは戦術だ」と自ら発言。18日に同氏は、討論会に本人出席するかどうかについて、ボウソナロ氏はかねてから討論会の弱さを指摘されておりましたが、提案にも過激なものが含まれていないから、正確な情報を得たい」と語った。

「伯国の政治的、経済的な混乱が続いても、将来的にボウソナロ氏に合法的に居住できる権利を得るために、国籍を取ろうとする人の増加を招いたのだ」と見ている。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

農牧部双方が快適に生活できる、俯瞰的な展望による持続可能な国家発展を目指す。また、二酸化炭素の排出削減に努め、地球温暖化の抑制に取り組むという。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

農牧部双方が快適に生活できる、俯瞰的な展望による持続可能な国家発展を目指す。また、二酸化炭素の排出削減に努め、地球温暖化の抑制に取り組むという。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

農牧部双方が快適に生活できる、俯瞰的な展望による持続可能な国家発展を目指す。また、二酸化炭素の排出削減に努め、地球温暖化の抑制に取り組むという。

ボウソナロ氏は「パリ協定は国家主権を侵し、不利な内容」との認識を持ち、環境連盟を率いるルイス・ロベルト・ロドリゲス元農相は、「パリ協定離脱

FÉRIAS ANIMADAS 2018

"Pacote de 13 dias"

02 de julho

Roteiro: Osaka, Kyoto e Tokyo

Museu Ghibli

ALFAINTER TURISMO

Visite nosso site: www.alfainter.com.br

ENDEREÇO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

(11) 2187-8989 (SP)

sao@alfainter.com.br

(03) 5473-0541 (TOKYO)

info@alfainter.co.jp

Pacote Aéreo

TUNIBRA TRAVEL ではポルトガル語と日本語で読み書き会話でき、旅行会社で働いた経験のある方を募集しています。

年齢不問

お気軽にお問い合わせください。

ツニブラ・トラベル

社員大募集!!

1949 TUNIBRA TRAVEL

renovando e realizando suas viagens!

職種 ▶ 旅行業務全般 / 営業 / 販売

勤務地 ▶ リベルダーヂ

年齢 ▶ 不問

給料・待遇 ▶ 面接にて決定します。

※関心のある方は下記までお問い合わせください。(担当:ミドリ)

TEL.(11)3346-8200

経歴書は下記メールアドレスへお送りください。送り先: komiya@tunibra.com.br

Praça da Liberdade, 170 - Liberdade, São Paulo

メトロ・リベルダーヂ駅の Av. Liberdade 側出口横

コロニア・アリアンサの歴史を知る 決定版 日語でもポ語でも読める

木村快著 **共生の大地アリアンサ**

日語版 R\$7,000 → R\$50,00

ポ語版 R\$7,000 → R\$40,00

特別価格 日+ポ語版 R\$80

ご注文お問い合わせ ● ニッケイ新聞社 (11-3340-6060) ● フォノマギ竹内書店 (11-3104-3399) ● 太陽堂 (11-3208-6588) ● 高野書店 (11-3209-3313)

郵便でのご注文の方は ● 太陽堂 ● フォノマギ ● 高野書店まで ● 詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060

※ 両語版特別価格は本紙編集部での購入に限りです

国際派日本人養成講座
伊勢雅臣

皇太子のヨーロッパ武者修行

第一次大戦後の欧州を行く裕仁皇太子は何を見、何を感じたか？

1. 大英帝国の最大級の歓迎

1921(大正10)年5月9日午前9時、ポーツマス軍港では大英帝国の誇る世界最大最強、威風堂々の大西洋艦隊が満艦飾で華やかに飾った旗艦「クイン・エリザベス」以下、うち揃って出迎えていた。やがて21発の皇礼砲が鳴り響く中、裕仁皇太子の御召艦「香取」と随艦「鹿島」が入港し、ポーツマス軍港の棧橋に横付けになった。

エドワード皇太子が乗艦し、陸軍正装に身を包んだ裕仁皇太子と記念すべき握手を交した。その後、一行は棧橋から宮廷専用列車に乗り込み、午後12時40分、ロンドンのピクトリア駅到着。国王ジョージ五世が御自ら王族関係者、政府関係を引き連れて裕仁皇太子を出迎えた。

馬車でパキンガム宮殿に向かう。沿道は黒山の人だかりで、市民達は手を振り、帽子をあげ、歓声をあげて同盟国・日本の皇太子を迎えた。

第一次大戦が終わって3年、飢えと失業が英国全体を覆っていたが、第一次大戦で日英同盟のもと、ともに戦ってくれた日本の皇太子を、大英帝国は最大級の歓迎で出迎えたのである。

2. 皇太子「箱入りご教育」の危機感

裕仁皇太子のご訪欧は、3月3日から9月3日まで、6ヶ月にわたる旅だった。ロンドン・タイムズは、出発日の社説で次のように述べた。

3月3日は日本の歴史上最も記念すべき日の一つとなるであろう。裕仁殿下は、きょう横浜からわが国訪問の旅に出られる。日本の皇太子が国外に出られるのはこれが初めてである。これは世界最古の皇室の歴史の中で明治維新にも匹敵する大きな出来事である。

史上初の皇太子外遊に対して、日本国内では右翼だけでなく、政治家や言論人の間からも反対論が巻き起こっていた。欧州各国は大戦後もなく、不測の事態が起る事も充分予想されたからである。その激しい反対をね返して、外遊実現にまでこぎつけたのは元老・山県有朋、松方正義、西園寺公望の3人の元老、それに原敬首相の執念であった。

これら人々は裕仁皇太子の教育問題について、深刻な問題意識を持っていたのである。たとえば山県が皇太子に拜謁した際、「御返詞なく、何も御下問なく、あたかも石地蔵の如き御態」であったとして、「箱入りご教育が問題だと指摘した。原首相も、皇太子教育の状況については、「真に憂慮し居る次第」だと山県に語っていた。

大正天皇のご病気で、松方などはすでに成年式を迎えた皇太子による摂政就任を考えていたが、これでは日本の前途はどうなるのだろうか、と危機感は深刻だった。その元老達が考えたのが、史上初の皇太子外遊というアイデアだった。

外遊によって各国王室と交流し、また著名な政治家や軍人達との会話を経験することとなる。ちょうど大戦後の欧州では戦勝国、敗戦国の消長やデモクラシー思想の拡大などを目の当たりにできるまたとない機会である。

しかし20歳過ぎたばかりの「石地蔵」のような「箱入り」皇太子をいきなり国際政治の檯舞台に登場させて、実践教育させようとは、さすがに自刃のもとをかくくつて明治維新をなした山県らの大

3. 船内の特訓

出航してまもなく、皇太子は高級士官たちと午餐会を席をともにした。殿下のフランス語教師を担当していた山本信次郎大佐は、誰かがチューチューと音を立ててスープを吸い、ナイフやスプーンを皿にぶつけてカチカチ鳴らしているのに、我が耳を疑った。とんだ作法な人もいるものだ、と眉をひそめて見回すと、それはなんと皇太子であった。

宮中では今まで何を教えていたのか、これでは外国王室や貴族の前には恥をさらすに似ていようなものではないか。山本は決心し、フランス語の時間にテーブルマナーを教え、また食事のたびに細かな注意を与えた。船中では運動不足を補うために、デッキゴルフや柔道をしたり。宮中では、お相手が力をセーブして、皇太子がかならず勝つと決まっていたが、山本や他の随員は、フェアプレー精神で正々堂々と勝負をつけ、そこから自らの技術のほどを自覚して、向上心を持つ事が大切だと考えたようだ。以来、皇太子はなかなか彼らに勝てなかった。柔道でも遠慮なく、ドシン、ドシンと投げつけられた。しかし、炎熱の甲板の上の柔道では、最後には皇太子がスタミナ勝ちした。

若手側近ら一同が、皇太子の居間に行き、「殿下のご奮励を促し、明治大帝の偉業を継ぐご継承あらんことを」と訴えたこともあった。これから檣舞台に立つ皇太子を思って、御訪欧に付きまとう供奉員たちも必死だったのである。供奉員の一人はこう語る。

4. 玉音朗々満堂を圧し

殿下はいつも供奉員の申し上げること耳を傾けられた。たゞ重なる遠慮のない直言も頭にとめられ、いちも美行なざる態度には感銘のほかなかった。

この時の光景に、皇太子は貴族や皇族のあるべき姿を見つけたようだ。次のように感嘆された。

貴族富豪が、アンソール公のように簡易生活をして公共の為に全力を傾ければ、所謂ボルネビキ(注：マルクス主義派の労働運動)などの勃興は起るものではない。アンソール公その人及びその生活は、貴族の模範である。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心をもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介しててください。

(ニッケイ新聞編集部)

6. 「戦争というものは実にひどいものだ」

英国を後にした皇太子一行は、フランスからベルギーを廻らされた。第一次大戦の激戦地イーペルは、ポントウズ陸軍少将の案内で見学した。ここはかつて有名な海水浴場でもテルが林立していたが、いまやともなホテルは軒もなく、海岸には砲台、観測所、鉄条網の残骸が残り、また砂浜には無数の弾片、小銃弾が散乱して、激戦の後を物語っていた。

ここにイギリス、フランス、ベルギーの連合軍とドイツ軍が双方100万もの兵を投入して、3度もの争奪戦が行われたのである。イギリス軍は30万、ドイツ軍は20万の死者を出した。

ベルギー軍が窮余の一策として実施したタムの決壊現場では、ポントウズ陸軍少将が当時の苦戦を語るうちに、そこが彼の息子の戦死した場所に近かったという話もあつて、説明半ばに涙が止まらず、その様子を見た一同もまた涙を流した。皇太子も思わず涙ぐみ、「戦争というものは実にひどいものだ」と吐露された。

7. 原敬首相の感激

皇太子一行は、その後、ローマでイタリア国王、ローマ法王などと会見した後、7月18日ナポリを発し、9月3日に横浜に戻った。横浜からお召し列車で東京に向かう。東京駅までの沿線は人山人海であふれ、万歳の声が絶えることがなかった。

東京駅では、出迎えた駐日イギリス大使エリオットに対して、皇太子は「今度、英国皇太子が来日されることに内定しましたが、私が貴国の皇太子に歓迎された様に、私も非常な誠意を以てお迎えするつもりで居る」と述べられ、次いでフランスのアンドリー代理大使には「貴国が戦後の回復の一日も速やかなることを希望する旨を、ぜひ大統領閣下にお伝えを願いたい」と伝えられた。

両国大使に即興でこのような挨拶をされる皇太子の自信あふれた態度に、原首相以下は感激を隠せなかつた。「石地蔵」のようだった「箱入り」皇太子の何という成長ぶりであろう。

5. アンソール公から学んだ模範

ロンドンに1週間滞在した後、皇太子一行はスコットランドをのぞき、名門貴族アンソール公の居城に迎えられた。その最後の夜、歓迎会の後の舞踏会は皇太子に格別の思い出を残した。

会が進むと、だんだんと平服のいかにも田舎者といった風情の男女が舞踏室に入ってきて、ついには100人以上にもなった。公が「これからスコットランドの舞踏をお目にかけましょう」と言つて、勲章をつけた正装のアンソール公が、普段着の村のおかみさんと、夜会服の公夫人は百姓の老翁と組んで踊り出した。これは皇太子の滞在中、家事の助けのために時的に集まってきた近所の任人たちであった。その時の様子を、供奉員の一人はこう記録している。

この時の気分は、主従まったく一家族となつて、主従といふやうな対立の気分が全くなく、一同相和して主人の賓客を御接待申し上げんとする誠意が各人の顔に輝いていた。

8. 尊敬より親愛に

ちよつどの頃、普及しつあつた活動写真会社が、皇太子訪欧の様子をニュース映画としてつぎに報道していた。政界政治の成長を背景として、報道も以前には想像できなかったほど、自由に許された。全国ではのべ2千万人が見たという大変な人気であった。国民は、我が皇太子に対する欧州各国の下にも置かぬもてなしを目の当たりにして、改めて世界の二等国の仲間入りをしたことを実感した。

帰国の夜、高輪御所には20万人を超す国民が集まり、御所では正門を開けて、真間から扱げさせた。

9. 生成発展する伝統

わが国はこの後、大恐慌、共産主義勢力の伸張など国際社会の荒波の中で多難な時代を迎え、ついには大東亜戦争敗戦に至るが、昭和天皇が国民に直接ラジオで呼びかけられた玉音放送、および、全国各地に廻られ、復興に向けて励まされた御巡幸が、わが国史上最大の困難を乗り越える上での大きな力となった。「A.B.」玉音報道や全国御巡幸に見られる国民に直接語りかけ、共に歩もうとする姿勢は、この欧州外遊によつて形成されたものである。

皇太子の将来を心配し、国内の大反対を押し切つて、御訪欧を決断した元老や原首相の執念、そして、船内で特訓を行った供奉員の必死の努力が、皇太子の成長を促し、その皇太子が国民と共に新しい皇室と国民との関係を形成していったのである。

伝統は墨守されるだけでは、時代から取り残されて枯死してしまう。時代の進展に対応すべく、代々の国民のためには努力と叡智によつて、新たな生命力を与えられて成長していくべきものである。皇太子の欧州外遊は、皇室伝統がわが国の長い歴史の中で、何れもその生命力を蘇らせた、その一幕と言える。

リンク

- A. JOG (100) 鈴木貞太郎(上) いかに内統を維持したまま、終戦を実現するか。JOG (101) 鈴木貞太郎(下) 終戦の聖断を引き出した老宰相
- B. JOG (136) 復興への3万3千キロ「石のひつとも投げられりやあいいんだ」占領軍の声をよそに、昭和天皇は民衆の中に入っていた
- 【参考文献】
- 1. 波多野勝「裕仁皇太子ヨーロッパ外遊記」草思社 H10
- 2. レナード・モズレー「天皇ヒロヒト」、角川文庫 S58
- 3. 児島襄「天皇第一巻」、文藝春秋 S49



18歳の裕仁皇太子

国際派日本人養成講座 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ第3弾！
世界が称賛する日本の経営

1冊100レアル 限定販売 残りわずか！

世界が称賛する日本の経営 伊勢雅臣

近年の日本企業は、欧米の株主資本主義的経営こそ最新の経営と思ひ込み、「三方良し」を追求する日本の経営を時代遅れと考へていようとする。

しかし、人間が成長する存在であることを考えれば、日本の経営の方が経済的パフォーマンスもよく、人々や社会を幸福にするパワーもはるかに優れています。今日の優れた欧米企業は、そのことに気づき、日本の経営を唱へ、追いついています。

本書は、先人の足跡をたどることで、読者に日本の経営とは何かを思い出してもらおうと目的としています。それができれば、日本の企業人、企業、日本国全体が、活力を取り戻すと信じています。

【お問い合わせ】 ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340 - 6060

【郵送の注文は日系書店まで】 太陽堂: (11)3208-6588 / フォノマギ竹内書店: (11)3104-3399 / 高野書店: (11)3209-3313

本紙土曜日掲載『国際派日本人養成講座』
著者・伊勢雅臣さん厳選24編

「世界が称賛する国際派日本人」

「あなた自身の言葉で世界が称賛する日本人が知らない日本」

2巻セットで R\$ 180 (日本語)

特別価格にて販売！

TEL: (11) 3340 - 6060 編集部

地方発送は日系書店へご注文下さい。

Economia (16/10/2018)

Governo japonês traça plano para minimizar impacto do aumento do imposto sobre o consumo

O governo japonês está avaliando como minimizar o impacto da elevação da alíquota do imposto sobre o consumo programada para o próximo ano. Em abril de 2014, quando o governo aumentou a alíquota de 5 para 8%, os consumidores fecharam a carteira, o que levou a uma queda anualizada de 7,1% do produto interno bruto japonês. Na segunda-feira, o premiê Shinzo Abe confirmou durante reunião do Gabi-

nete que o imposto vai aumentar de 8 para 10% em outubro de 2019, conforme o planejado. Desta vez, o governo traçou estratégias para evitar um resfriamento da economia após o aumento. O plano inclui, por exemplo, a implantação de um sistema de subsídios para ajudar os consumidores e pequenos varejistas. Quem fizer pagamentos feitos sem o uso de cédulas e moedas também será recompensado – o governo vai

dar pontos aos consumidores no valor de 2% das transações. Pontos acumulados poderão ser usados em compras futuras. O Gabinete também está considerando medidas para evitar queda nas vendas de bens de alto valor, como imóveis e carros. O governo pretende diminuir impostos para pessoas com hipotecas, e ampliar os benefícios para compradores de imóveis de baixa renda anual. O plano inclui também o abatimento de

impostos cobrados na hora da compra de um automóvel. Até agora, a única medida certa é a adoção de um novo sistema de imposto sobre o consumo com alíquotas variáveis, que vai isentar alguns itens do aumento. O imposto sobre alimentos, bebidas não alcoólicas e alguns jornais continua a ser de 8% mesmo depois de outubro de 2019. O objetivo é aliviar o impacto do aumento sentido pela população de baixa renda.

Segurança Nacional (17/10/2018)

Governo japonês adota medidas legais para prosseguir com transferência de base dos EUA

O Ministério da Defesa do Japão tomou medidas legais visando retomar os trabalhos para prosseguir com a transferência de uma base dos Estados Unidos na província de Okinawa, no sul do país. Os lados japonês e americano haviam concordado em transferir a base aérea de Futenma, pertencente ao Corpo de Fuzileiros Navais dos Estados Unidos, da densamente povoada cidade de Ginowan

para um distrito menos populoso em Henoko, na localidade de Nago, ambas em Okinawa. No entanto, em agosto, o governo provincial revogou uma autorização de aterramento para a nova base, alegando que as medidas do governo central para proteger o meio ambiente eram problemáticas. Ela foi adotada para honrar o desejo do ex-governador de Okinawa, Takeshi Onaga,

que faleceu de câncer no mesmo mês. Os trabalhos de aterramento estão suspensos desde então. Onaga tinha sido eleito para o cargo em 2014 e lutou para transferir a base para fora da província. Na quarta-feira, o Ministério da Defesa solicitou ao ministro dos Transportes e Infraestrutura - que tem jurisdição sobre leis relacionadas - uma ordem judicial para suspender temporariamente a revo-

gação da autorização de aterramento. Pediu ainda ao ministro que revise a questão, com o objetivo de anular a revogação da aprovação. Ambas as medidas têm como base a lei de revisão de reclamações administrativas. O Ministério dos Transportes e Infraestrutura vai ouvir a opinião da província de Okinawa antes de tomar uma decisão.

Diplomacia (18/10/2018)

Premiê do Japão e presidente da França concordam em estreitar cooperação de segurança

Os líderes de Japão e França concordaram em estreitar a cooperação de segurança, com o objetivo de concretizar uma região Indo-Pacífico livre e aberta. Na quarta-feira, o primeiro-ministro japonês Shinzo Abe e o presidente francês Emmanuel Macron se reuniram em Paris. Abe afirmou que o Japão quer trabalhar com a França,

lembrando que ambas são nações do Pacífico, já que o lado francês possui territórios no Pacífico Sul. Os líderes concordaram em acelerar a cooperação de segurança, incluindo a ampliação de exercícios militares conjuntos entre as Forças de Autodefesa do Japão e as Forças Armadas da França. Eles confirmaram ainda que é importante imple-

mentar por completo as sanções à Coreia do Norte com base em resoluções do Conselho de Segurança das Nações Unidas, além de pavimentar o caminho visando desnuclearizar Pyongyang e resolver a questão dos sequestros de japoneses pelo lado norte-coreano. Abe e Macron concordaram em trabalhar para evitar que a Coreia do Norte se esquivasse das

sanções. Shinzo Abe se comprometeu a abordar a questão de alcançar o crescimento econômico e corrigir disparidades econômicas na cúpula do Grupo dos Vinte que o Japão sediará no próximo ano. Os líderes confirmaram que ambos os países trabalharão juntos para liderar as discussões, já que a França vai sediar a cúpula do G7, em 2019.

Diplomacia (17/10/2018)

Japão e Espanha reafirmam compromisso com livre comércio

Shinzo Abe e Pedro Sánchez, os premiês do Japão e da Espanha, concordaram em aumentar a cooperação dos países em uma série de questões, inclusive na promoção do livre comércio com diversas nações. Na terça-feira, Abe reuniu-se com Sánchez em Madrid, a capital espanhola. A Espanha é a pri-

meira parada da turnê de cinco dias do premiê japonês pelo continente europeu. Abe irá participar da cúpula do encontro Ásia-Europa (Asem, na sigla em inglês) na Bélgica. Em sua primeira reunião, Abe e Sánchez lembraram que as relações diplomáticas entre o Japão e a Espanha completaram 150 anos em 2018. Os dois

concordaram em reforçar os laços para ter uma “parceria estratégica”. Os premiês disseram que estão comprometidos a enfrentar o protecionismo e todas as práticas comerciais injustas. Ambos também afirmaram que irão apoiar um sistema multilateral de comércio regulamentado e a reforma da Organização Mundial do

Comércio (OMC). Abe e Sánchez também falaram sobre a Coreia do Norte. Os dois disseram que estão comprometidos a trabalhar a trabalhar em prol da desnuclearização e implementar completamente sanções contra o país baseadas em resoluções do Conselho de Segurança da ONU. Ambos ainda afirmaram que é importante manter uma ordem marítima livre e aberta com base em princípios do direito internacional.

Diplomacia (17/10/2018)

Estados Unidos poderão negociar questões comerciais com o Japão a partir de janeiro

O governo Trump informou o Congresso americano de que pretende começar a negociar questões comerciais com o Japão. O diálogo deve começar já em janeiro. O secretário do comércio exterior dos Estados Unidos, Robert Lighthizer, enviou a nota oficial na terça-feira. Dado que a lei americana estipula

um prazo de 90 dias antes do início das negociações para que a notificação seja feita, o governo Trump poderá iniciar o processo já no começo do próximo ano. Visando reduzir o déficit com o país, os Estados Unidos querem que o Japão abra mão de certos pontos referentes ao comércio de automóveis e

produtos agrícolas. Na nota, Lighthizer lembrou que o déficit comercial em 2017 com o Japão foi de 68,9 bilhões de dólares. Em outra declaração, Lighthizer disse que, no governo de Donald Trump, a representação comercial americana vai continuar a negociar acordos separados com o Japão e outros países. O objetivo seria

ampliar o comércio e os investimentos americanos. Em setembro, durante encontro com o presidente americano, o premiê japonês concordou em negociar um acordo comercial bilateral. Há tempos o Japão vinha insistindo na realização de negociações envolvendo outros países, mas as intenções japonesas foram frustradas pela ameaça americana de tarifas mais altas sobre veículos japoneses importados.

NHK WORLD

JAPAN

Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD-JAPAN. nhk.jp/portuguese

Economia (17/10/2018)

Japão fica no 5º lugar em índice de competitividade global

Um levantamento feito todos os anos pelo Fórum Econômico Mundial considerou o Japão o quinto do mundo em competitividade global. Ainda assim, o país não obteve uma boa colocação em relação à participação das mulheres na sociedade. O relatório anual divulgado na quarta-feira trouxe a avaliação de 140 economias feita por analistas do fórum. O Japão conseguiu se recuperar em relação ao ranking do ano passado, quando ficou em 9º lugar. A baixa taxa de criminalidade, a qualidade da infraestrutura e o padrão educacional do Japão foram apontados como responsáveis pelo bom desempenho. Apesar da colocação geral positiva, o país ficou no 64º lugar no ranking

de participação feminina em atividades sociais e econômicas. A pesquisa ressaltou a continuidade da alta taxa de desemprego entre as mulheres e que muitas precisam se demitir após tirarem licença-maternidade. Na avaliação geral, os Estados Unidos encabeçaram a lista, sendo apontados o seu forte sistema financeiro e inovações tecnológicas revolucionárias. Cingapura veio em 2º, encunando a Alemanha em 3º lugar. Entre os países asiáticos, a Região Administrativa Especial de Hong Kong, que teve uma avaliação separada da China, ficou em 7º lugar. A Coreia do Sul ocupa a 15ª colocação, enquanto a China é a 28ª. O Brasil ficou no 72º lugar.

Aplicativos gratuitos da **NHK WORLD - JAPAN**
TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD TV

*Para iOS, Android e Amazon Fire

Chegou o mais novo volume

Cultura Japonesa 8

Entendendo o Japão

UMA ANÁLISE DOS ACONTECIMENTOS ATUAIS, DA HISTÓRIA E DA CULTURA

OS PIONEIROS DA IMIGRAÇÃO JAPONESA

Que sentimentos apossaram a alma dos primeiros imigrantes japoneses ao chegar ao Brasil cortando de vez seus vínculos com a terra natal? É de se imaginar que haja por trás disso, histórias. Não apenas da dura vida de privações que levavam, mas também, de amores e de aventuras. Decorridos 110 anos desde o início da imigração japonesa no Brasil, o momento é propício para recordar como eram esses imigrantes pioneiros. Gente como eles, cheios de vitalidade, que se projetaram do Japão mundo afora, compoem a ebulliente sociedade inicial dos imigrantes no Brasil. É dela surgiu a sociedade nikkei desta terra.

NOBORU SESHIMO, CONDE KOMA, RYOTA OYAMA, TORAZO OKAMOTO, TAKEO ATOMIYA E KUMAKI NAKAO

PIONEIROS DA HISTÓRIA DA IMIGRAÇÃO SUAS VIDAS DETALHADAS AQUI!!

Leia, conheça, colecion, presenteie!

Lançamento Jornal Nikkei Shimbun e Biblioteca Jovem de São Paulo

INFORMAÇÕES E VENDAS

Jornal Nikkei Shimbun (11-3340-6060), Livraria Fonomag (11-3104-3399), Livraria Sol (11-3208-6588), Livraria Takano (11-3209-3313)

Para adquirir o livro através dos Correios, entrar em contato com as Livrarias.

「観光や仕事でどうぞ！」 青山市長、杉本団長呼びかけ



青山市長、杉本団長

（訪問団長）が夕方、市内ホテルで記者会見を行った。今年、聖州レジャーストリートとの姉妹都市提携38周年でもある。2013年に続き、現役市長として2回目の来伯をした青山市長は、「パブル期の1990年頃、2千人からのブラジル人が市内で働いていたが、特にリーマンショック以降、今では15人のみ。ブラジルからの皆さんには永住を前提に増やしていきたい」と語った。

正派の会が箏曲演奏会、21日 名取の生徒らも参加

正派ブラジル箏曲の会・生田流正派（北原雅楽人会長）が「第21回箏曲演奏会」を21日午後2時から、文協小講堂（Rua Sao Joaquin de Liberdade）で開催する。入場無料。

9歳からの生徒32人が参加し、全10曲を披露する。今年3人の名取の生徒も参加し、例年より発表人数が増えた。「さくらさくら」と「問合せは、北原会長（11・98417・7016）、西川さん（同・97446・0846）まで。



来社した内海さん、北原師範、西川さん

川郷の高山などたくさんある。工業と観光資源が結びつけて、ブラジルからも仕事や観光に来ていただけるかが課題」と今後の姉妹都市提携の大きな図式を述べた。リニア中央新幹線は2027年に品川から名古屋まで6駅で結んで開通する予定。岐阜県内では津川のみ。一行は18日にイビラプエラ公園で開拓先没者慰霊碑参拝、ジャパンハウスや移民史料館視察、岐阜県人会幹部と懇談会、19日はレジストロ市役所表敬訪問、ロータリークラブで歓迎会、20日は市内視察、夜は記念式典、21日にレジストロ市で姉妹都市市民関連施設視察後にリオ市へ移動。22日はリオ市内視察、23日に帰路に着く予定。

セアーズが今昔物語

ほとんど全員日本人だった

不渡りを出した相手はサンパウロ市から車で2時間ほどのところに野菜の販売店を構えていた。その近くで三日三晩待ち伏せしたが、新垣さんが来たことを知ってか姿を現さなかった。「これでは噂が明かされると考え、弁護士に相談し不渡り小切手を預けた。ところがその弁護士が亡くなり、小切手の行方すら分からなくなりました。手の打ちようがなくなり、売上げの回



セアーズ内で盆踊り大会が行なわれた様子 (BLOG DA CEAGESPより)

「もしブラジルに来るに、そのまま津浦に残っていたら、子供に十分な教育が施されたと思いませんか」と尋ねると、考える間もなく「出来なかったでしょうね」と答えた。「戦後の沖繩は荒廃し、自給自足、食うか食わないかの生活だった。あんまりよくては教育どころじゃなかったらどうなるか」と話した。

不渡りで倒産する日系人も

古賀さんも倒産した。古賀さんはもともと医者志望で、高校卒業後は大学に進学するつもりだった。しかし、卒業の年に父親が急死。面倒見が良かった父親は知人らに頼まれて保証人になっていて、その借金を踏み倒されて家族が肩代りする羽目になった。持っていた農地などを手放してもまだ借金は残り、葬式の費用を捻出できなかった。幸い、古賀さんが働いていた整骨院の院長が退職金代わりに1年分の給料を払ってくれ、なんとか父親を弔うことができた。古賀さんは大学進学を諦め、働くことを決めた。（つづく、山縣陸人記者）



(65)

どのくらい貨車に揺られていたのだろうか。大きな駅に着き貨車から降りた。元山である。また一歩日本が近くになった。元山まで来ていることは、確かに帰還することに間違いはないはずだが、一度思いきりよく騙されてから帰還船に乗るまでは安心できない。ソ連のことだから何時豹変するか分からない。

二〇、日本空素KKの独身寮へ

寒さにふるえながら雪を踏みしめて、元日本空素KKの社宅街に入った。一班一〇名毎に一部屋づつ宛がわれた棟は、独身寮だった。部屋の扉はなく、扉代わりに麻袋を解いたものがぶら下げてあった。畳はなく床板が寒々と迎えてくれた。が、驚いたことに窓際の蒸気スチムが通っていた。一〇人が軀を寄せ合えばスチムの窓際で、厳寒はなんなく凌げる。この部屋の班長格は、免渡河の駐屯地で支那戦線から降格され、私たちの内務班に転属してきたあの東義秀さんである。またモルドイのラゲリから伐採に赴いた時の班長保坂さんも同じ班になっていた。この二人は病弱兵ではなかったから、私がモルドイ村のラゲリを出たときは残っていたはずだが、北朝鮮の三合里に来たときは一掃だった。それから私は病舎に入り、彼等二人とは離れてしまった。元山に来てどうした加減か、また東さん、保坂さんと同じ班になった。東さんは、転属して来た当時の、班長を班長と思わないような厳とした様子は消えて、普通の人に変わりしていた。保坂さんは全く変わらなくて、温和なものであった。

ここで忘れ得ない、東義秀さんについて、記憶していることを記しておきたい。

先彼について少し触れたように北支戦線から私たちの班に転属してきたのは、四五年五月のことだった。朝の点呼後、彼はふいにやってきた。内務班に入り班長に向かって、堂々と転属の申告をした。髭面が小柄、私とあまり変わらない。班長はなぜか遠慮している様子でよろしく頼む、というようなことをボソボソ言った。班長は班長、東さんは上等兵である。なにに班長は彼に対して先輩をたてる風である。しばらくして、東さんは支那戦線でも何かがあり、降格されたらしいという噂が流れた。八年兵だぞうだ。食事の時、班長は窓際のテーブルの端に座り、班員は食へはじめるのが慣例になっていた。班長が箸を取り一口食べるのを待って、班員は食へはじめるのが慣例になっていた。当番は何時も通り、班長へ真っ先に膳を持ってゆく。班長は当番に何事か耳打ちした。二番目に東上等兵に膳を差し出した。彼はテーブルに着かないで自分の寝台にトックと座り、差し出された膳を受け取るとすぐに食へ始めたのである。班長など眼中にない態度である。

北朝鮮にきて、三合里、元山で一緒に寝起きしていると、意外にも人物で同じ内務班にいたことも話の種になり、いい友人関係を保った。

★ レジストロ灯籠流し ★

発:11月2日(金) 帰:11月3日(土)

- バスでの移動
- 宿泊 (Hotel Valle Sul) 1泊、朝食付き
- 市内観光、灯籠流し、鍾乳洞見学
- 日本語添乗員同行

R\$ 398,00

サービスグローバル

Shiatsu 指圧・整体・針灸で

腰痛ヒザの痛み、首の痛み、咳・くしゃみによる尿もれ、頻尿の人

Prof. Minoru Kohakura

Tel: (11) 3262-0835

Av. Paulista, 509 Sala 7 (メトロ・プリガデイロ近く)

お子様の御成長を祈る

七五三祝

着物有ります

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL

南米神宮

Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP

Tel: (11) 5575-4783 - www.templexintoista.org.br

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA

Admite-se estagiário(a) 研修生募集中 (男女)

和泉整骨 法で

SADAKAZU NAKATA PhD

CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE

TEL: (11) 5571-4113 / (11) 5083-6756

Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061 - V.Mariana - São Paulo - SP

NEOVISIE Oftalmologia

中野眼科

ブラジル眼科学会 認定の眼科専門医

5548-7802

白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対する網膜病、レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術

CIRURGIA DE CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER

日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。

Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana

METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

AVENIDA PAULISTA, PARQUE IBIRAPUERA, SHOPPING E METRÔ

O Matsubara Hotel coloca o melhor de São Paulo à sua volta

matsubara Hotel & Convention Center

Rua Coronel Oscar Porto, 836 Paraisópolis

Reservas: 11 3561.5000 0800 771 7101 matsubarahotel.com.br

